



リュウキン (1)

分類: コイ目 コイ亜目 コイ科
 学名: *Carassius carassius auratus*.
 英名: *Fringetail*.

日本で飼育されている金魚の中で、ワキン(和金)に次いで一般的な種類である。徳川時代の1770年代に中国を原産地とする琉球から移入されたものであるが、リュウキンは琉金または琉錦の漢字を当てる。

系統はフナ→ヒブナ→ワキンと突然変異を繰り返し、鰭が長くなって重心が後方に移動したため、体長が縮まった。その個体の固定された体型のものをリュウキンとされている。頭部が小さくやや尖り、体型は肥厚した丸型で、各鰭は大きい。三ツ尾または四ツ尾の尾鰭の美しいことが大きな特色である。体色は赤が普通に見られ、白は下品とされる。鮮紅色の地に白の斑紋のあるものは、更紗と呼ばれて最も高価である。



1966.7.1



1952.5.10



1967.8.1



1948.4.3

リュウキン (2)



1948.3.11



樹ナシ 1946.11.15



樹ツキ 1947.2



1948.3.8